

# 各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

1 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	国語
グループ名、人数	8グループ 11名		担当教員	◎山崎	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合う態度を養う				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	ニュース発表 漢字や語句	通年	○ニュースを聞き、発表する。 ▲ニュースに関心をもつことができる。 ○漢字や語句を読む・書く。 ▲漢字や語句を覚える。	・実際の映像ニュース等を観る。 ・いろいろな語句を練習する。	
4	自己紹介	5	○自己紹介文を書こう。 ▲自分自身に関心をもち、友達の前で発表できる。	・具体的な表現の仕方を丁寧に提示する。	
5	作文	5	○体験したことを振り返り、作文を書く。 ▲ワークシートにまとめたことを文章にする。	・振り返りを行うための資料を提示する。	
6	表現・発表	8	○面接の仕方、ロールプレイをする。 ▲適正な声の大ききで発表できる。	・手本を示し、分かりやすく進める。	
7	調べ学習	4	○語句を調べよう ▲季節や時事の言葉を調べることができる。	・最新のキーワードなどを紹介する。	
9	朗読 本の紹介 POP作り	7	○物語を読もう ○おすすめ本の紹介POPを作る。 ▲題名や作者名、おすすめする理由をまとめることができたか。	・歌謡曲の詩等、生徒が興味をもちやすい題材を用意する。 ・作品例を提示する。	
10	物語を読む。	8	○あらすじや登場人物を考えて読む。 ▲内容を理解できる	・ロールプレイ等を使ってわかりやすくする。	
11	手紙を書く	8	○相手や目的を考えて書く。 ▲相手のことを考えることができる。	・文例を提示する。	
12	文章表現	4	○文章の構成を知ろう ▲文章の仕組みについて理解する。	・5W1Hゲーム等を取り入れる。	
1	書写  百人一首	6	○毛筆で文字を書き伝統文化に触れる。 ▲自分なりの文字を表現する。 ○古典に触れる ▲百人一首を楽しむことができる。	・書き順などを丁寧に伝える。 ・百人一首をかな表示して読みやすくする。	
2	敬語の使い方  手紙を書く	9	○丁寧語や敬語の使い方を知る。 ▲場面や場所に合わせた丁寧語や敬語があることが分かる。 ○お世話になった人に手紙を書く。 ▲相手のことを考えることできる。	・職場などの場面を設定しロールプレイ等で分かりやすくする。	
3	作文	6	○一年間の活動を振り返り文章で表現する。 △写真などで1年間のことを振り返り、何があったか確認する。	・写真、ICT機器を使用する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	社会
グループ名、人数		7.8グループ 22名		担当教員	◎久留
ねらい	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色について、社会生活との関連を理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象を自分の生活と結び付けて考える力や社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
後期	ニュース発表	後期	<p>○時事ニュースなど、毎時間担当を決めて発表する。</p> <p>▲わかりやすく、発表できる。</p>	<p>・タブレット端末で気になるニュースを調べる機会を設ける。</p>	
9 10 11	公共施設と制度  地域の安全	10	<p>○公共施設や公共物等の働き・自分が住む地域</p> <p>○鉄道の Web ページや路線検索アプリなど活用し、行きたい場所への経路、IC カード乗車券の使い方等を調べる。</p> <p>▲交通ルールや社内での迷惑行為について理解できる。</p> <p>○自然災害と地域の人との関わり</p> <p>○マイタイムラインを活用し、自然災害の内容や避難行動の確認をする。</p> <p>▲自然災害に、風水害があることを知る。</p>	<p>・生徒が実際に行きたい場所を目的地として設定し、意欲を高める。</p> <p>・生活に役立つ内容を取り入れる。</p> <p>・マイタイムラインを作成することで防災への意識を高める。</p> <p>・必要に応じて、保護者とも連携する。</p>	
12 1 2 3	社会参加と決まり  我が国の地理や歴史	7	<p>○投票の仕組み</p> <p>○選挙の仕組みや投票の仕方を知る。</p> <p>▲投票の仕方を理解できる。</p> <p>○自分が住む地域</p> <p>○日本や東京の土地や名産品</p> <p>▲日本や東京の土地や特徴的な文化について関心をもつことができる。</p>	<p>・実際に「みんなでやりたいこと」等、5つ程度の選択肢を挙げ、選挙を疑似体験できるようにする。</p> <p>・生徒会選挙を活用する。</p> <p>・ICT機器の地図アプリなどを活用する。</p> <p>・学校周辺の歴史の移り変わりについても触れる。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	数学
グループ名、人数		8グループ 11名		担当教員	◎渡邊
ねらい		(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 (2) 日常の事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (3) 数学の楽しさを実感し、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学(日本教育研究出版)	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	数と計算 (いろいろな計算) 数学的活動 (電卓、カードゲーム、パズル等)	通年	○計算のワークシートに取り組む。 ○カードゲームなど、複数で協力して推理する問題に取り組む。 ▲意欲的に計算やゲームに取り組んでいる。	・援助が必要な生徒には個別に対応する。 ・主体的に取り組むことができる教材を選択する。	
4 5	量と大きさ	14	○生活の中で使われている単位について確認しながら覚える。 ▲学んだことを活かし測量用具を使って測定できる。	・生活で実際に活用できるように、場面をイメージさせながら取り組む。	
6 7	長さと重さ	14	○生活の中で表示されている単位を理解する。 ○資料からデータを読み取り、グラフを作成する。 ▲グラフを正確に作成できる。	・単位と具体物を実際にマッチングできるようにイラストや具体物を活用する。	
9	図形 (平面図形) (立体図形)	6	○展開図より立方体や直方体などを制作し理解を深める。 ▲基本的な図形の構成要素に関心を持ち図形の移動や回転のシミュレーションができる。	・展開図に関しては、作りやすく見やすい大きさのものを準備する。	
10	資料の整理 (表、グラフの作成) (資料の分析) (平均、四捨五入)	6	○大きな度数の資料を概数でとらえたり、実生活で応用できるように ICT 端末を活用したりする。 ▲いろいろな資料に関心を持ちデータを集約することができる。	・色を付けたり、文字を変えたりするなど、視覚的に理解しやすいよう工夫する。	
11 12	時計と時刻 ・時間の計算 ・時刻表 ・時間と距離	15	○それぞれの現場実習先の様子や交通機関など、具体的な例を使って時間の計算をし、その後ワークシートにて様々な場合について練習する。 ▲簡単な時間の計算や日にちの計算が正しくできる。	・必要に応じて電車の時刻表や ICT 端末を活用して実生活に関連付ける。	
1 2 3	金銭の応用 ・税率、割引 ・割り勘	15	○日常生活において一人で買い物をする。 ▲積極的に金銭の学習に取り組む。 ○生活の中で時計や暦を読み理解する。 ▲時刻や時間の大切さを理解し意欲的に取り組める。	・日常生活に身近な教材を準備する。 ・個別に対応できるように教材準備する。 ・繰り返し買い物の練習をする。 ・実際の体験を通して学習する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	理科
グループ名、人数	7.8グループ 22名		担当教員	◎清水	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。				
年間授業時数	18 単位時間		使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	生命の連続性	5	○生き物の誕生 ▲生き物の発生や成長について、知り、生命の連続性について理解できる。 ▲周囲の生物の発見と理解から、季節を感じられるようになる。	・季節の植物観察や昆虫探しを行い、ワークシートで振り返る。 ・ICT機器や資料を活用する中で、生き物の成長の様子に着目して、時間の経過と関連付けて考える活動を行う。	
5	生物の構造と機能	5	○植物の発芽、成長、結実 ▲植物の構造や簡単な働きについて理解できる。 ▲植物の発芽の条件や成長の条件が理解できる。	・葉の種類は、農園芸班の野菜や植物も横断的に活用する。 ・発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら調べる活動を行う。	
6	地球・自然 地球の大気と水の循環	5	○天気の変化(雲と天気の変化) ▲雲の量、動きから天気を予測することができる。 ○天気の変化(天気の変化の予想) ▲所定地域の気象情報を調べ、まとめることができる。	・大型TVなどを使用して視覚的に分かりやすくする。 ・小グループに分かれて、調べ学習を行う。	
7	地球と自然 地球の内部と地表面の変動	3	○流れる水の働きと土地の変化 ▲流れる水の簡単な働きについて理解することができる。 ○川の上流・下流と川原の石 ▲川の増水によって起こる自然災害について調べることができる。	・映像を見ながら、イメージできるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	美術
グループ名、人数		7・8グループ 22名	担当教員	◎谷 矢島 片峯	
ねらい		(1) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 (2) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)	
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○作品展示や鑑賞を通し、達成感や周囲との交流を育む。 ▲作品を介した人と関わりを意識できる。 ○制作成功体験を通して造形活動を楽しみ興味関心を高める。 ▲造形活動に能動的に取り組もうとしている。	・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7 9	オリエンテーション 描画、貼り絵	4	○簡単な制作を通し安心して活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味関心をもち活動に参加できる。	・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。	
	デザイン	8	○体育祭スローガン、ポスター ▲適切な道具の使用方法を意識し制作できる。 ▲体育祭で使用する目的を意識して制作ができる。	・扱いやすい素材で制作する。 ・制作方法を見本などで分かりやすく提示する。	
	版画技法	14	○版画制作 ▲各版画技法の組み合わせを考えて制作することができる。 ▲制作を通して版画制作の工程を理解することができる。	・版画技法を複数回繰り返し、制作内容への見通しをもてるようにする。	
10 11	文化祭に向けた 取り組み	14	○文化祭舞台道具の制作 ▲個々の力を発揮すると共に、制作物に合わせて協力して制作ができる。	・写真などで制作内容を分かりやすく伝える。	
12	立体造形	14	○暮らしを彩る季節の飾り制作 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。	・季節や制作のイメージができる動画などを提示する。	
1 2 3	絵画技法 工作	8 8	○水墨画制作 ▲墨の濃淡の違いを体験しながら表現することができる。 ○半立体作品制作 ▲素材を変化させる道具や方法を学び、主体的に制作できる。	・東洋の美術作品などの鑑賞を行う。 ・扱いやすい素材と道具を用意する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	音楽
グループ名、人数	7・8グループ 22名		担当教員	◎東、三宅、品川	
ねらい	(1) 歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲や演奏のよさを見いだしながら音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動を通して、生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	レッツコーラス「音楽之友社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 身体表現 「リズムトレーニング」 創作 「リズムリレー」 「指揮的活動」 鑑賞 生演奏や視聴覚教材	通年	○音程を意識して歌う。 ▲音の高低を理解して発声できる。 ○ダンス、リズム模倣、創作を行う。 ▲拍節を理解して体を動かし、正確に人に伝わる演奏ができる。 ○我が国や諸外国の音楽に触れる。 ▲楽曲の特徴を捉えて、鑑賞しようとしている。	・生徒の実態に合った教材を提示する。 ・演奏や鑑賞に集中できる学習環境を整える。	
4 5 6 7	歌唱 「校歌」等 鑑賞 「花」等日本の名曲  器楽 和太鼓 「旋風の太鼓」	19	○歌詞や旋律を覚えて歌う。 ▲歌詞や旋律を覚え歌うことができる。 ○リズムや旋律の特徴等、曲想を感じ取り、工夫して演奏する。 ▲曲を形作る諸要素に気づいて表現できる。 ○日本の名曲を知る ▲曲の特徴を感じて、自分なりに感想を持ち、伝えることができる。 ○口伝を意識し、バチの構え方や姿勢に注意しながら演奏する。 ▲基礎的な奏法を覚え、姿勢や音色を意識して演奏できる。	・歌詞の内容をイメージしやすいよう、視覚支援を行う。 ・演奏する前に、口伝の確認を行う。 ・鏡で撥の動作の見本を見せる。 ・曲を構成する諸要素の中でポイントを絞って鑑賞できるようにする。	
9	創作 「移動教室のテーマソング」	7	○移動教室をイメージしながら歌詞やリズムの一部を創作する。 ▲見本を組み合わせて、歌詞やリズムの一部を創作できる。	・歌詞やリズムの見本を示し、形式や枠組みを作って創作しやすいようにする。	
10 11 12	歌唱・身体表現 「文化祭の歌やダンス」	24	○文化祭に向けて、自分なりの表現で歌唱や身体表現をする。 ▲教員や友達と自分なりに歌唱や身体表現ができる。	・お互いの表現を鑑賞し合える発表の場を設ける。	
1 2 3	器楽 「合奏」 歌唱 「卒業式の歌」 「二部合唱」	20	○他の人の演奏を聴きながら、拍節に合わせて演奏する。 ▲演奏する音やタイミングを理解して演奏できる。 ○国歌など式典で歌う歌を、のびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・色音符等、視覚で音がわかりやすいようにする。 ・他パートの音が意識できるように、お互いのパートの音を聴き合う時間を設ける。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	7.8グループ 18名		担当教員	◎島井（月）帖佐・清水 （木）帖佐・川井（金）帖佐・唐沢	
ねらい	(1) 各種目の運動の特性を知り、運動を楽しむ。 (2) 自他の運動課題を発見し、解決のため工夫したり、協力したりする。 (3) 主体的に運動し、卒業後も運動に親しむ意欲、態度を養う。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育（東洋館出版社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動	通年 15	○ヨガ・ストレッチ運動・体幹トレーニング・ランニング等 ▲特性に応じた動きをしている。	・運動のポイントを提示し、特性に応じた動きができるようにする。	
4 5	ダンス 体づくり運動	7	○運動会の種目 集団でのゲーム・ダンス ▲大きく、力強く動いている。	・動画や見本を活用して、動きのイメージをもてるようにする。	
4 5	陸上競技	10	○短距離走 ▲正しくスタートしている。全力で走り切っている。	・スタートの手順をキーワードで分かりやすく提示する。	
6 7 9	体づくり運動	(4) 水泳中止時に実施	○新体力テスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げ） ▲手順通りに全力で行っている。	・各種目のポイントを視覚的に分かりやすく提示し、やり方を理解できるようにする。	
5 6	球技	12	○ゴール型 ▲ルールを理解し、チームのメンバーと協力してゲームをしている。	・役割分担等を固定し、協力して活動できるようにする。	
6 7	水泳	12	○水泳 ▲身体を大きく動かし、合理的に泳いでいる。	・一人一人が意識できる目標を設定し、毎授業で評価をする。	
7 3	保健	3	○心身の健康・人との距離の取り方 ▲身近な生活上の課題とひきつけて考え、伝えている。	・熱中症など、身近な話題と関連付けて、興味をもてるようにする。	
9 10	陸上競技	9	○短距離走、ハードル走 ▲全力で走り切っている。	・速く走るポイントを提示する。	
10	武道	2	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。	・映像を活用しイメージがもてるようにする。	
11 12	器械運動 体づくり運動	9	○マット運動・平均台・ヨガ ▲滑らかに動いている。腕でしっかりと身体を支持している。	・ヨガなど関連する動きを取り入れ、巧緻性を高める。	
1 2	陸上競技	8	○長距離走 ▲記録会に向けて意欲をもって活動している。	・記録会での目標を設定し、達成に向けての努力を毎回評価する。	
2 3	球技	10	○ゴール型 ▲勝つためにはどうすればよいか考え、協力して活動している。	・作戦を立てたり、確認したりする時間を多く設定する。	
3	陸上競技	8	○リレー ▲正しくバトンパスができています。全力で走っている。	・チーム対抗で行い、記録向上への意欲を高める。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	職業
グループ名、人数	8グループ 10名		担当教員	◎帖佐	
ねらい	(1) 職業について関心をもち、各進路行事に参加し将来についてイメージをもつ。 (2) 授業や体験を通して自分の強みや弱みを見つけ、伝える力を身に付ける。 (3) 興味・関心の幅を広げ、自己選択・自己決定する力を身に付ける。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための進路学習（日本教育研究出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶の練習 こんな時どうする？ 将来設計		○挨拶・自己紹介の練習 ▲自分から挨拶（礼）ができる。 ○ソーシャルスキルを学ぼう。 ▲日常で起こる様々なことについて、対応を考える。 ○将来設計について ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」について考えることができる。	・毎回同じ流れで取り組み、活動に見通しをもてるようにする。 ・様々な身近な場面を想定して考えられるようにする。 ・LLブックを使用し、様々な生活について触れることができるようにする。	
4	オリエンテーション	4	○進路の流れや内容について聞く。 ▲学習内容の説明を聞くことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しをもてるようにする。	
5 6 7	進路見学会 事前学習 事後学習	10	○見学会について見通しをもつ。 ○進路先で卒業生の姿を知る。 ▲進路見学会に参加できる。 ○進路見学で取り組んでいた作業内容を体験してみる。 ▲作業に取り組むことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しをもてるようにする。	
9 10 11 12	就業体験 事前学習	13	○就業体験先の名前や行く日を知る。 ▲実習の内容等を意識することができる。 ○卒業後の生活を体験する。 ▲就業体験を一緒に行う。 ○自分の好きな作業や得意な作業を見つける。 ▲一定時間落ち着いて作業に向かうことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しがもてるように工夫する。 ・色々な活動内容を用意する。	
1 2	先輩の話を聞く会  自分を知ろう （自己理解）	4	○先輩の話を聞く会 ▲先輩の話を聞く会に参加し、進路について興味をもつ。 ○自分のことを選んでやってみよう。 ▲自分の好きなことを選べる。 ○自分の苦手を知る。 ▲苦手でも配慮がればできる。	・視覚支援教材を用いて見通しがもてるように工夫する。 ・興味をもてる教材を用意し、選択できるようにする。 ・ゲストティーチャー	
3	将来設計を考えよう。	4	○将来設計を考える。 ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」について考えることができる。	・LLブックを使用し、様々な生活について触れることができるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	家庭
グループ名、人数	7・8グループ22名		担当教員	◎山本、木全、渡邊、山崎、菅原	
ねらい	(1) 家庭生活に必要な被服、食物、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2) 生活の中から問題を見出し、解決策を考え実践する課題解決力を養う。 (3) 家庭生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付き、行動する態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	「ひとりだちするための調理学習」(日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度、準備、片付け	通年	○準備、片付け、清掃、ごみ分別 ▲準備、片付け、掃除の手順が分かる。	・被服室、調理室の片づけ手順書を用意する。	
4	オリエンテーション 被服室の利用法 スウェーデン刺繍	6	○1年間の学習予定と被服室の使い方 ○スウェーデン刺繍 ▲被服室の使い方のルールを覚える。 ▲布目を正しく数えて、基本の刺繍を進めることができる。	・手本や写真カードを提示し分かりやすく説明する。	
5	被服 タブレット端末 ケースの制作	7	○スウェーデン刺繍 ▲手本を見て手順を理解し、自分で刺繍を続けることができる。 ▲糸の処理を丁寧に行える。	・手順をカードや画像で提示し、始めと終わりを分かりやすく提示する。	
6	被服 タブレット端末 ケースの制作	8	○スウェーデン刺繍 ▲出来上がりを確かめながら、刺繍を進めることができる。	・美しく仕上げるコツを個々に伝える。	
7	被服 家庭の仕事	6	○家庭での仕事 ▲家庭での仕事の種類や内容について知り、自ら取り組む姿勢をもつことができる。	・具体例を多く示し、家庭内の仕事の大切さを理解できるようにする。	
9	被服 ミシンの基礎	8	○ミシンの操作、縫い方 ▲返し縫い、直線縫い、始めと終わりの操作を理解し縫うことができる。	・個別に言葉掛けや動作見本を行い、ミシン操作ができるようにする。	
10	調理 色々な汁物作り (移動教室に関係する料理)	7	○身支度、衛生、調理室の使い方 ○ガス台の使い方・包丁の扱い方 ○汁物などの調理。 ▲衛生や安全を自分で留意でき、調理室を安全に使うことができる。	・安全に関わる決まりは繰り返し伝える。 ・手順や素材の切り方、コンロの使い方などは、カードやタブレットなどで個別に分かりやすく提示する。	
11	調理 色々な汁物作り	7	▲調理用具を安全に使って調理を進めることができる。		
12	調理 いろいろな食文化	5	▲手順書を参考に、流れを考えながら調理に取り組むことができる。		
1	消費者教育	5	○消費者トラブルに合わないために ▲消費者として留意すべきことを理解できる。	・具体例やクイズを多く提示し、自分で考えられるようにする。	
2	調理(食物) いろいろな食文化。	5	○健康的な食生活について考える。 ▲地域ごとの食生活の豊かさや、世界の食糧事情について理解することができる。	・伝統食や、SDGsに関わる問題提起など、多方面から考えられるようにする。	
3		6			

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 80名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しもう	6	○学年オリエンテーション ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲1年の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるように教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 6 9	学級で活動しよう	17	○学級活動(各行事を知り、事前準備や事後の反省を行う) ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意志や意見を持つ。 ▲協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすいようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
7	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。	・視覚教材を利用し、選択肢を示し理解しやすくする。	
10 11 12 1 2	学年集会をしよう	8	○学年集会の内容についての話し合い。 ○学年集会の準備・進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の役割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	1年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気付き尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	



令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		普通学級 77名		担当教員	普通学級担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (2) 教室をきれいにするとともに安全な教室環境を整える。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	季節行事の学習や生活の中の様々な活動体験	通年	○校外や地域の自然の変化に触れ、季節を感じる。 ▲四季の変化や特徴の気づき、活動する。 ○季節の制作物 ▲活動に興味や期待感をもつ。 ○教室環境の清掃、環境整備 ▲整理整頓ができたか。	・季節に合わせた活動を工夫する。 ・活動を通して自然の変化に気付くことができるよう一人一台端末を活用する。 ・一人一人に適した道具を使用する。	
4	学校生活に慣れよう	4	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	6	○体育祭事前・事後学習 ▲田無の体育祭を知り、自分たちの活動を理解する。 ▲体育祭の準備などを通して、協力しながら主体的に活動する。	・以前の映像等の視覚教材を使用して、活動のイメージがもてるようにする。 ・自分でできることを考えて目標を立てさせる。	
6 7	世界の国を知ろう 掃除道具の使い方	7	○外国の行事や文化に触れる(ALTによる学習) ▲外国人講師と交流することができる。 ○掃除道具の使い方に慣れよう。 ▲道具を安全に正しく使う。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。	
9 10	移動教室に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解できるようにする。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭の事前・事後学習 ○劇において、演技や台詞で表現する。 ▲自分の役割を意識して表現し、周りと協力して活動できる。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや達成感を味わう。	・得意なことを活かした役割や活動に取り組む。 ・皆で協力して一つのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2 3	校外学習に行こう 卒業式に向けて	6	○校外学習の事前・事後学習 ▲自分の係を意識して活動できる。 ▲マナーやルールを守って参加できる。 ○3年生を送る会、卒業式 ▲見通しをもって儀式に参加する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解しやすくする。 ・儀式に参加する意義を説明する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		80名		担当教員	1年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	2	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の4グループに分かれて選択活動を行う。  ・情報  ・スポーツ  ・芸術  ・日本と世界	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3	○生活に身近な情報の入手方法を調べたり発表したりする。		
9		3	○ボール等を使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	○美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
11		4	○日本と海外の伝統文化や祭りを調べたり、体験したりする。	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3	○昔の遊びや海外の遊びなどを体験する。		
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
2		4	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		3	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 11名		担当教員	○作山、久留、山本、西尾、帖佐	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	(重重) 175 単位時間		使用教科書	なし
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃		○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。		・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	紙工作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー リサイクル作業（ペットボトルキャップ） 文化祭に向けた製品作成	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、計量、袋詰め、封入、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり、袋詰め、計量等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、仕分けなど、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーや、袋詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。 ○洗浄、裁断、成型、アイロン、穴あけレジン塗、UV レジンランプによる硬化等 ▲作業工程や材料・道具の扱い方を理解し、安全に配慮しながら手順に沿って作業を行うことができる。 ▲自分の役割を理解し、作業に取り組むとともに協力して最後までやり通そうとする姿勢。 ○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。 ・生徒の実態に合わせて道具や運搬方法を工夫する。 ・短時間で繰り返しできる活動内容を提示する。 ・作業内容を選べる環境を設定する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名	担当教員	◎谷、島井、三谷、山崎、星野	
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。	
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。	
	・インターシップ	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。	
11 12  1 2	・文化祭で製品を売る。 ・販売に向けて製品を作る  ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	20   75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。	・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。	
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・次年度につながる評価表にする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 14名		担当教員	◎木村、唐澤、田畑、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	23	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理	222	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 11名		担当教員	◎木全、松本典、渡邊	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました。」「確認お願いします。」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使って分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・ピザ  販売	63	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を準備することができる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業する。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	55	○ピザの台紙作り ▲自分の分担作業を丁寧に取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	進路見学 就業体験 (インターシップ) (1月～2月)	30	○1、2日働くことを体験する。 ▲指示通りに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。	/	
12 1 2	調理 (製品作り) ・ピザ ・チョコチップパン ・食パン ・フォカッチャ 販売	54	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲きれいにパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 清掃班
グループ名、人数		清掃班 14名		担当教員	◎品川 日下 廣本	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫	
通年	職業生活 (職業生活に必要な思考力、判断力、表現力)	毎時 20分	○身だしなみ、服装 ○挨拶、片づけ、清掃 ○作業の内容の確認、授業の成果と課題付け ▲作業学習のねらい、個人の目標、学習の流れを把握している。		・提示された指示書を確認する。 ・作業日誌にねらいや目標を記入できる欄を設け、毎時確認できるようにする。	
4	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	60	○タオルのたたみ方、絞り方、自在箒、ダスタークロス、クリーナーの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱いながら教室清掃や廊下清掃ができる。		・練習ボードを使用し、テーブル拭きの基本的な手順や手の動かし方を練習する。 ・タオルの幅を意識して拭けるように机に印をつけるなど視覚支援を行う。	
5	校内清掃 (窓、教室、廊下)					
6	校内清掃 (食堂、教室、廊下、更衣室)	26 水午後	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・見取り図を作成する。 ・生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にしていく。	
7	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	44	○スクイージーの使い方、モップの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱うことができる。 ▲窓に水滴や汚れが残っていないか点検することができる。 ▲モップのセッティングの仕方、絞り方、拭き方を理解する。		・視覚ボードや作業手順カードを利用するなど視覚支援を行い学習の効率化を図る。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
9	校内清掃					
10	高1 教室清掃、 ゴミ回収 高1 更衣室清掃 玄関清掃 廊下清掃 校外清掃	34 水午前	○教室のごみ回収や更衣室の清掃を行う。また玄関の窓清掃及び下駄箱清掃に取り組む。 ▲教室出入り際には挨拶することができる。 ▲互いに協力して、回収を分担する。 ▲任されたごみ回収や清掃場所を最後まで責任をもって取り組むことができる。 ○外部受注の仕事に取り組む。 ▲5日間作業に取り組むことができる。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。 ・見取り図を作成する。	
11	(学童清掃)					
12	清掃技能検定向け練習 校内清掃 校外清掃 (学童清掃)	17	○検定マニュアル通りに清掃する。 ○校内清掃検定を実施する。 ▲マニュアルに従って、清掃することができる。 ▲制限時間を意識している。		・過去の検定のDVDを見て検定の流れを理解する。 ・DVDを活用しながら繰り返し実践を行う時間を設ける。	
1	校内清掃 食堂、玄関、窓 教室、廊下、更衣室	48	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
2	校外清掃 フレンドリー清掃 インターンシップ		○玄関の窓や学童の窓をスクイージーで清掃する。 ▲清掃終了後に報告することができる。 ○インターンシップ先で働く体験をする。 ▲インターンシップに参加できる。		・視覚ボードや作業手順カードを利用する。 ・インターンシップ先の事業所の写真や情報を提示して、見通しをもって参加できるようにする。	
3	清掃まとめ 2年時の清掃	16	○外部指導員や先輩の清掃の様子を見学し、清掃技術の向上を図る。 ▲模範をよく観察し、清掃方法を覚える。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 事務補助班
グループ名、人数		事務補助班 12名	担当教員	◎東、矢島	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験し、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 「勤労の意義」 「職業」	毎時 20分	○出席確認、挨拶、身だしなみチェック、作業内容、時程の確認、日誌記入、片付け、清掃 ▲ビジネスマナーを意識する。	・自己評価と教員が行う他者評価の結果を基に自ら目標、課題設定ができるようにする。	
4	事務 「事務業務の内容と特徴」	60	○オリエンテーション(挨拶、ルール、目標、仕事内容の確認) ▲作業に必要な機器の簡単な操作ができる。	・作業日誌や目標を記入できる欄を設け毎時確認する。	
5					
6	事務 「事務処理の方法」  (インターシップ°)	169	○事務トレーニング 1 シュレッダー 2 裏紙作成、押印 3 用紙補充 4 入力業務 5 ポスティング 6 雑誌ひもしぼり 7 テプラ作成 8 ラミネーター 9 印刷 10 リユース 11 メモ帳作成 ▲PCや印刷機などの操作ができる。 ▲受注に対して責任をもって自ら主体的に取り組もうとする。 ▲教員や先輩に教えてもらいながら手順書を手掛かりに工程を理解する。 ▲一人で手順書をもとに時間や効率を意識して工程を進めている。 ▲発注内容に対して、お客様の要望や気持ちを意識して仕上げようとする。	・検品基準を明確にする。	
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	事務 「事務処理の方法」	16	○年度末業務 1 クラス表示の作成 2 文具の回収仕分け ▲作業の手順を考え相談しながら取り組める。	・検品基準を明確にする。	